

第42回日本ニュージーランド経済人会議 議長総括

2015年10月20日（火）

第42回日本ニュージーランド経済人会議は、2015年10月18日から20日までの3日間、ここ北海道苫小牧市において、ニュージーランド側67名、日本側90名の計157名が参加して開催されました。

.....

開会式では、両国委員長による開会あいさつの後、高田稔久（たかたとしひさ）、マーク・シンクレア両国大使、高橋はるみ北海道知事、藤田博章苫小牧商工会議所会頭の祝辞がありました。

.....

基調講演では、双日総合研究所の吉崎達彦氏から「アジア太平洋における日本ニュージーランド関係」と題し、スピーチいただきました。

TPPの大筋合意は日本のFTA戦略の大きな進展であり、ニュージーランドにとっても大きな成功であるとして、今後期待される中国の参加も含め、アジア・太平洋地域に「質の高いFTA」を広げていく動きが進むとのお話がありました。

.....

第1回全体会議では「両国経済情勢」について、TPPにより両国ビジネスに新たな投資やパートナーシップが期待されるとのスピーチがあり、少子化や気候変動による影響等も含め、活発な意見交換が行われました。

.....

第2回全体会議では「環境・エネルギー」をテーマに、低炭素社会の実現に向けた木造住宅建設や持続可能な土地・森林活用の取り組みが紹介され、参加者からは世界の森林国のモデルを目指し、政府による支援、インフラ整備を求める意見も寄せられました。

.....

第3回全体会議「イノベーションとテクノロジー」では、地熱、健康科学等の研究や、看護・介護、農業分野でのロボット活用の最新事例が紹介され、両国の強みを活かしたコラボレーションとイノベーションの必要性について意見が交わされました。

.....

第4回全体会議「製造業」では、日本国内の需要減少に対し、積極的な海外展開と既存技術を活かした新規事業開発、ニュージーランド産羊毛による高品質の商品開発など、新たな成長に挑み、成功している事例をご紹介いただきました。

.....

第5回全体会議「物流・港湾」では、最新技術を活用した農業施設やCO₂削減の実証実験プロジェクトの誘致を進める苫小牧港の取り組みや、両国間の輸送拡大に向けた航空業界の取り組みをご紹介いただきました。

.....

第6回全体会議「食品・農林水産業」では、ロボットを活用したスマート酪農や酪農の高付加価値化、機能性食品開発等における両国の協力プロジェクトと今後の可能性についてお話しいただきました。

.....

第7回全体会議では「教育・観光」をテーマに、ラグビーワールドカップやオリンピック開催を控える日本とニュージーランドを結ぶスポーツツーリズムへの期待と、相互の留学拡大に向けた取り組みについて、留学経験者のスピーチも含めご紹介いただきました。

.....

第8回全体会議「付加価値をともに深化させる日本とニュージーランド」では、イノベーティブな研究開発分野での協力、TPPを通じた両国ビジネスの付加価値向上を期待するコメントがありました。

.....

今回の会議は、北海道苫小牧の最先端の工場視察も含め、TPPにより大きな変化の時代を迎える日本とニュージーランドの経済について、新たなビジネスの可能性と、益々のパートナーシップの重要性について理解を深める、大変よい機会になったと感じています。

.....

以上、議長総括とさせていただきます。ありがとうございました。

以上